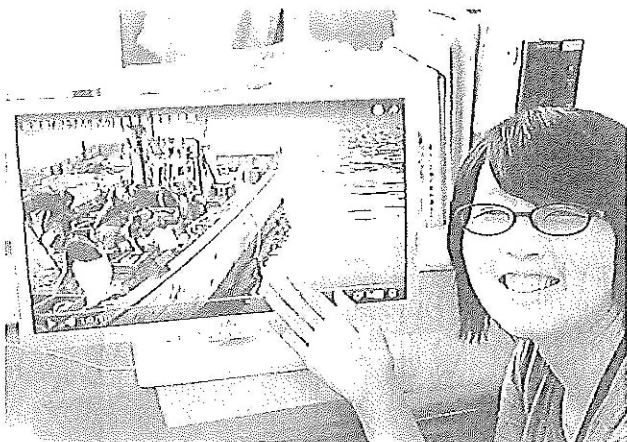


# 働く父親 動画で紹介 「おとうさんかん」第2弾公開

松 浦

松浦市はホームページ上の架空の大学「青の大学」  
内で、地元の子どもらが父

親の仕事に触れる動画「おとうさんかん」の第2弾を公開している。  
今回は同市星鹿町沖に浮かぶ人口約250人の離



「おとうさんかん」の魅力を語る中村さん

島、青島が舞台。素潜り漁、養殖漁業、定置網漁を営む3人のお父さんの仕事にそれぞれの子どもが密着し、手伝いをして家業への理解を深める内容となっており。各編3分ほどで、子ども

もが海に飛び込んだり、名物の無添加の青島かまぼこをおやつ代わりに頑張ったりして、島の日常を映像と音声で表現。青々とした海や地平線に沈む夕日など美しい自然も目を引く。

同大学の発案者で同市地域おこし協力隊員の中村友香さん(33)が熊本市の業者に撮影を依頼し、12日から公開。「住民間の絆が強く、島ぐるみで子どもを育てる

昔ながらの、素のままの風土が表現できた。これを見て、都会暮らしの松浦市出身者たちが、やっぱり古里で子どもを育てたいという気持ちになってくれたら」と中村さん。

工場見学や親子で柔道をしている家族などが描かれた4月公開の第1弾では、大阪市の人から「感動して涙が出た。すぎな松浦を一度訪ねたい」と連絡があったという。本年度中に松浦高放送部と共同するなどして、第3弾を公開予定という。松浦市政策企画課ふるさと納税・魅力発信室 0956(72)1321。(福田章)